

平成 2 2 年 3 月

伊東市議会 3 月定例会

代 表 質 問 要 旨

伊 東 市 議 会

代 表 質 問 順 序

1 民主党・刷新の会 鈴木 克 政 君

2 正風・興志会 宮 崎 雅 薫 君

3 清峰クラブ 佐々木 清 君

4 日本共産党 佐 藤 美 音 君

5 輝 2 1 稲 葉 富 士 憲 君

6 公 明 党 楠 田 一 男 君

代 表 質 問 要 旨

民主党・刷新の会 鈴木 克 政

平成 2 2 年度の施政方針及び予算編成から以下伺う。

1 新たな任期の最初の予算編成となる平成 2 2 年度予算が施政方針とともに示された。市内経済が低迷する中、限られた財源での予算編成には重点施策を優先的に予算配分することが大切であると思う。市長は平成 2 2 年度の予算編成に当たり重点施策をいかに反映させたか伺う。

2 本市の基幹産業である観光振興策について以下伺う。

本年度もインバウンド事業として宣伝事業や誘客推進事業が計上されているが、その効果が見えない。富士山静岡空港も開港され、外国人観光客の誘客状況の現状と将来展望について伺う。

「観光圏」や「ジオパーク」が期待されているが、そのかぎを握るのは伊豆全域の連携であると思う。しかし、以前より「伊豆は一つで、一つずつ」などと言われていて連携に不安を持つが、現状での取り組みと今後の展望について伺う。

「健康保養地づくり事業」を始めて 1 0 年が経過したが、当初の目標の一つである観光振興面についての成果は期待外れであった。観光振興面から見た本事業の今後の取り組みについて伺う。

3 「夢まちづくり事業」は本年度まで 3 カ年実施した「元気のある地域づくり応援事業」を引き継ぐものだが、継続事業を行う場合「P・D・C・A マネジメントサイクル」で「計画・実施・評価・改善」を検証することとなっていると思うが、本事業ではどのように行われたのか、また、「敬老の日記念行事事業」においても行われるのか伺う。

4 平成22年度から建設工事が始まる市民病院の各分野への波及について以下伺う。

伊豆急南伊東駅からのアクセスについては、駅舎や周辺道路のバリアフリー化が必要と思われるが、いかがか。

南伊東駅側の昇降施設については、安全性や費用対効果に疑問を持つ。伊東駅や南伊東駅からのシャトルバスや市内各所を結ぶ循環バスなどを考えていくべきと思うが、いかがか。

低迷する市内経済を見たとき、できる限り正常な単価で多くの工事を市内業者の手でできるよう配慮をすべきと思うが、いかがか。

5 新年度、環境美化センターを更新・改良するための整備計画の作成と基本設計・実施設計に該当する環境影響評価業務委託及び整備計画書の策定を委託することで本格的な更新工事が始まるが、その概要について伺う。

6 市有建築物の耐震化について、新年度は八幡野幼稚園の耐震化工事や富戸幼稚園の耐震補強実施設計、また、南中学校の耐震補強計画策定が行われ、昨年策定された公共建築物耐震化計画が順調に進んでいるようだが、その進捗状況と今後の見通しについて伺う。

7 市の所有する施設を市内の児童・生徒が使用する場合、できる限り使用料の免除が望まれるが、現状の使用料の減免の状況について伺う。

代 表 質 問 要 旨

正風・興志会 宮 崎 雅 薫

1 平成22年度予算の編成方針や今後の行財政運営について

市内の経済状況をどのように把握して市税を積算したのか伺う。

市税滞納繰越分の徴収計画について伺う。

新病院建設や環境美化センターの更新改良整備などの大型事業が予定されているが、今後の市債の借入計画や償還の見込みについて伺う。

2 義務的経費のうち人件費について

給与費の各種手当の見直し状況について伺う。

平成22年度以降の退職者数と退職手当の見込みについて伺う。

職員の定員管理計画の推進状況について伺う。

能力や職責に応じた給与体系をどのように調査、研究する方針か伺う。

3 扶助費の動向について

平成22年度の生活保護世帯の受給者の推移について伺う。

就労支援の状況について伺う。

4 活力あるまちづくりに係る事業について

低迷する宿泊客の増加策についてどのように考えているか伺う。

空き店舗が目立つ商店会の現状をどのようにとらえ、どのような施策を考えているか伺う。

商店会のイベントに対する施策について伺う。

5 学び豊かなまちづくりに係る事業について

平成22年度の幼稚園や小・中学校の修繕要望にどのような方針で臨んでいるか伺う。

老朽化している幼稚園や小・中学校の施設の建てかえ計画や今後の耐震化事業計画について伺う。

幼稚園、小学校、中学校の園児、児童、生徒の減少による学区の見直しについて伺う。

代 表 質 問 要 旨

清峰クラブ 佐々木 清

市長就任２期目の予算編成に対する市長の基本姿勢について伺う。

1 時代の転換期における行政運営について

情報集積基地を設け、活力あるまちづくりに向けた施策を積極的に展開してはいか
がか。

観光戦略として、異業種交流による検討会の立ち上げについて

古くて新しい温泉の活用方法及び魅力づくりについて

2 市内経済の改善・回復策について

伊豆半島の魅力アップにより「観光地伊東」の活性化へ向けた取り組みについて

まちづくり事業の推進による景気浮揚策について

3 快適で安心・安全な暮らしやすいまちづくりについて

介護が必要な人や障害者のＱＯＬ（クオリティ・オブ・ライフ）向上のため、市民
病院と連携を図るとともに、介護拠点を整備することについて

別荘分譲地定住者と市街地在住者が集う「市民交流センター」の開設について

子供たちが落ち着いて学ぶことができるための環境整備と、子供たちが将来に向け
て夢を描くことのできる社会の実現に向けての考えについて

代 表 質 問 要 旨

日本共産党 佐藤美音

- 1 前年度比7.1%増、224億7,400万円の平成22年度一般会計予算(案)が示されたが、この伸びの主なものは子ども手当の支給に伴うもので、残念ながら市民生活の繁栄によるものではない。自公政権のもとで「貧困と格差」をつくりだした、構造改革路線を転換する経済対策が求められていると考え、以下の点について伺う。

不況のもとで、深刻な経営状況にある建設業界への経済対策として、公共施設の耐震補強などを前寄せて取り組むことや、低入札制度の見直しを図るべきではないか。

定員適正化計画で職員を計画以上に大幅削減し、その穴埋めに多くの臨時職員が採用されていたと考える。新年度にその臨時職員を大幅削減することであり、仕事が順調に運ぶとは考えられないが、どのような根拠で削減するのか。

新年度、新たに湯川保育園が民間委託される。国は最低基準の緩和や、民間園の運営費も一般財源化する方向を示しており、市立保育園の民営化方針も見直しが必要ではないか。

市史編さん事業の予算は年々減少しているが、これまでにどれくらいの事業が終わり、今後の計画はどう進めるお考えか伺う。

ILO第94号条約に基づく、公契約条例の制定を求める動きが起きている。公共事業の発注者である地方自治体が、下請企業で働く労働者の賃金や労働条件が保障されない状況を放置すべきではない。そのための公契約条例をつくるべきと思うが、どうか。

自主財源の個人・法人市民税が落ち込む一方、地方交付税が大幅に増加し、また地方

交付税の足りない分を市の借金とする臨時財政対策債が大きく増加している。また、職員の身分に対する条件が厳しくなる退職手当債の増加など、今後の財政運営の健全化に向けての考えを伺う。

- 2 世界各地で大きな災害が発生しているが、伊豆東部火山群の活動に対して避難計画を持つ上でもハザードマップの作成が必要ではないか。

代 表 質 問 要 旨

輝 2 1 稲 葉 富士憲

1 行政改革について伺う。

第四次総合計画の策定の過程に、P・D・C・Aマネジメントサイクルはどのように生かされているか。

P・D・C・AマネジメントサイクルのP、C、Aに当たる部分の強化策として、シンクタンクを設けることは、考えられないか。

2 財政運営について伺う。

今後の公債費、人件費の推移をどのように予測しているのか。

今後の投資的経費の推移をどのように予測しているのか。また、一般会計で賄わなければならない大規模施設の修理・改修費用、例えば焼却炉、市役所庁舎、観光会館などについて、どのように予測し、どのように手当てする計画か。

下水道事業への繰出金の推移をどのように予測しているのか。

3 市民のボランティア活動に対する本市の姿勢を伺う。

4 南部地域の八幡野川、対島川、赤沢川における、本市の治水対策を伺う。

各河川は、どの程度の雨量まで決壊せずに耐えられるのか。

今後、各河川の危険箇所の解消をどのように行っていくのか。

代 表 質 問 要 旨

公 明 党 楠 田 一 男

- 1 自主財源の確保対策として新年度から導入される、「インターネット公売事業」について以下何う。

インターネット公売に対する基本的な姿勢はいかがか。

インターネット公売のメリットについてはいかがか。

インターネット公売の実施はいつごろからか。

- 2 災害時要援護者避難支援事業について以下何う。

個人情報保護法及び伊東市個人情報保護条例への対応はいかがか。

情報の共有化をどのように図られるお考えか。

- 3 小・中学校と幼稚園の耐震化工事が100%完了するまでの実施計画について何う。

- 4 女性特有のがん検診推進事業の具体的な取り組みについて何う。

- 5 安心・安全なまちづくりについて以下何う。

家庭から出る不用品の回収業者について、市民を不安から守るためのルールづくりが必要と考えるが、いかがか。

多発しているオートバイ盗を未然に防ぐ対策として、広報啓発活動や関係機関・団体等との連携強化をどのように考えているか。

- 6 医療と観光を連携させた「メディカルツーリズム」について伺う。

- 7 国民読書年についての取り組みを伺う。

- 8 子育て支援の新たな対策として注目されている「キッズ安心タクシー」の認定制度について伺う。